

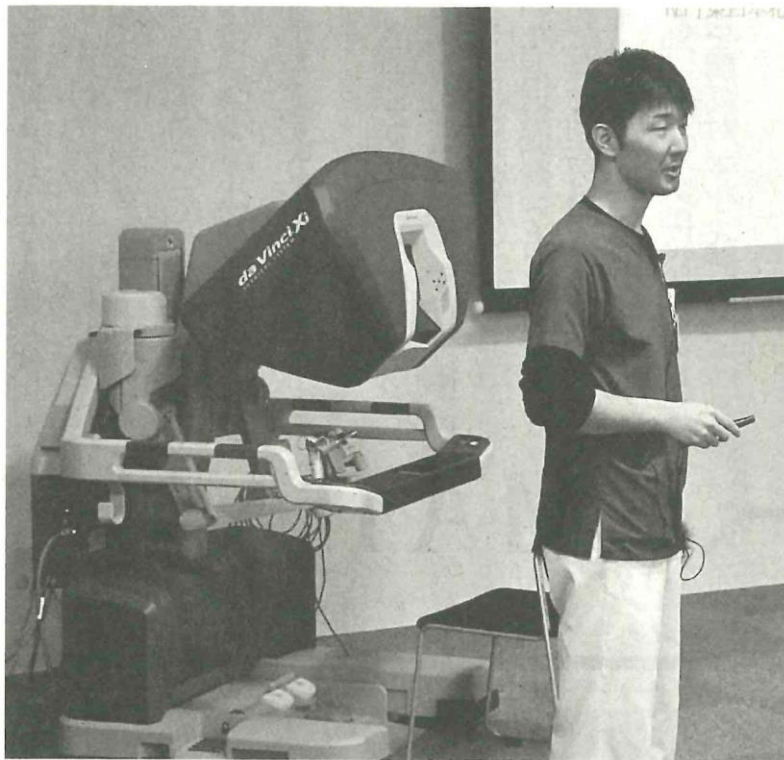
手術支援ロボットががん治療に活躍

製鉄室蘭病院でセミナー

がんの治療法について学ぶ「市民公開がんセミナー」が、製鉄記念室蘭病院で開かれた。約60人の市民らが、手術支援ロボット「ダビンチ」を用いた前立腺がん治療についての知識を深めた。

同病院は昨年ダビンチを導入。今年3月から稼働しており、今後は前立腺がん以外のがんにも順次活用する。

セミナーは3月26日開かれ、講師を務めた泌尿器科主任医師の前鼻健志医師は、実際にダビンチを操作しながら説明。開腹手術や腹腔鏡手術と比べて傷が



小さい、出血量が少ない、術後の尿漏れの回復が早いなどのメリットを紹介し、「正確で精密な手術を提供できる」と話した。

聴講した室蘭市港北町の椎久養一さん(68)は「良い機械だと分かりました。手術も安心してできますね」と感心していた。

(田中雅久)

手術支援ロボット「ダビンチ」の前で、前立腺がんの治療法を説明する前鼻医師